

えんど久子県議らが求めてきた

# 訪問介護への支援策が実現

## 報酬引き下げに怒りの声を届け

「まさか訪問介護の基本報酬が引き下げになるとは思わなかった。何のために介護保険制度か」など、訪問介護事業所の方の怒りの声を紹介し、猿渡（えんど）久子県議は、昨年6月の県議会本会議で質疑。報酬アップや国の負担増、介護スタッフの基本給アップなどを求めました。

## 新人ヘルパーに同行支援

そして、今年3月の県議会に補正予算として提案・可決された予算で、報酬が減った訪問介護事業所に対し、新人ヘルパーにベテランヘルパーが同行支援する事業やコンサルを活用した経営改善の支援策がスタートしました。

## 経営改善のための支援策

経営改善の支援策は、処遇改善加算が取れていないがヘルパー不足などでその事務をする時間がないという小規模事業所などを対象に、コンサルディング会社が処遇改善加算の手続きを支援します。



## 経営基盤を強化するために

えんど久子県議は、予算の審議で「この支援策はありがたいが、新潟県村上市のように遡って減収補填が必要ではないか」と質疑。

県の担当課長は「その場限りの補填ではなく、大分県としては、小規模事業所などに経営改善するための支援などを行い、経営基盤を強化する。国に対し大分県の状況を伝えるなど、必要に応じ見直しを要望する」との答弁でした。



一般質問する  
えんど久子県議  
大分県議会  
本会議場にて  
2025. 3. 10.

# 日本共産党 県政ニュース

発行 日本共産党大分県議団  
大分県議会議員 えんど久子

TEL・FAX 097-537-2344

No. 79

2025.4.15.

# えんど久子県議ら日本共産党も求めてきた

## フリースクールの利用料への支援など実現

えんど久子県議がみなさんと共に求めてきたことが今年度の予算で実現しました。今後も声を寄せていただき、願いを届けて一緒に実現を目指します。

### 多くの不登校の子が通えるように

えんど久子県議もこれまでの一般質問などで求めてきたフリースクールの利用料助成が実現しました。低所得世帯を対象に月15000円を上限に2分の1を県が支援するものです。別府市・日田市では、市独自の支援が2024年度にスタートしています。

えんど久子県議は「この利用料助成は住民税非課税世帯が対象だが、兄弟3人では月10万近くかかり、住民税課税でも複数人通う場合は助成が必要ではないか」と文教警察委員会で発言。

今後とも、さらなる充実に向けがんばります

### 県営住宅の改修をうけ

えんど久子県議は、機会あるごとに「県営住宅に空室が多いが、ニーズに合った改修をすすめる活用すべき」など、低家賃の住宅の必要性を訴えてきました。

今年度の予算で竹の内にある扇山団地などで子育て世帯向けに改修するなど、少しずつですが改修されます。また、民間の住宅を改修し低家賃での入居をすすめるための県の支援事業もスタートします。

さらに、低家賃の住宅確保策を求めていきます。

### バリアフリーの充実などを求める

障がい者の一般就労についての声を届けてきましたが、職場実習に参加する障がい者に2000円/日の奨励金ができるなど、支援事業が充実されました。合同企業説明会も昨年度からスタートしています。

3月10日の一般質問では、えんど県議の重ねての質問に対し、ユニバーサルデザインタクシーのドライバー研修の充実、ソニックの車いすスペースの改善について協議し努力すると答弁。

### 制度の谷間がないように

また、制度の谷間で支援を受けられないことがないように求めました。障害者手帳の有無に関わらず市役所の障害福祉課などで困りごとなどを相談できるように市町村に徹底する、と予算特別委員会でも確認しました。



### 他にも

えんど久子県議は、職員研修で包括的性教育を、全国棚田サミットへの県の支援、観光PRブース、ペット同伴避難など、多岐にわたり質疑し改善などを求めました。